

今日コレ

聖武天皇の大仏づくりは、どのように進められたのでしょうか。



行基(ぎょうき)
(668~749年)

Q1. 聖武天皇の大仏づくりについて、下の文章を完成させましょう。

743年、(聖武)天皇は、大仏をつくる詔を出しました。

それは、世界を仏の光で照らすことを願い、金銅の大仏を、多くの
人たちの協力を集めてつくるといふ命令で、大仏は、全国の国分寺
の中心である(東大寺)につくられました。

大仏づくりを支えたのは、全国から集められた農民などの人々で
した。詔が出された4日後には、僧の(行基)は、弟子たちとともに、人々によびかけ、
大仏づくりに協力しました。(行基)は、人々のために橋や道、
池や水路などを作りながら仏教を広めていたので、人々からたわれて
いました。この僧の力は、人々の力を集める上で、大きな力となりました。

大仏づくりには、すぐれた技術をもつ(渡来人)たちも活やく
しました。延べ260万人以上の人々が、何年も働き、大仏が完成したの
は(752)年のことでした。

